



鳥取県

有限会社 ふくた
福田 充宏

【作品名】
里山風景と暮らす家

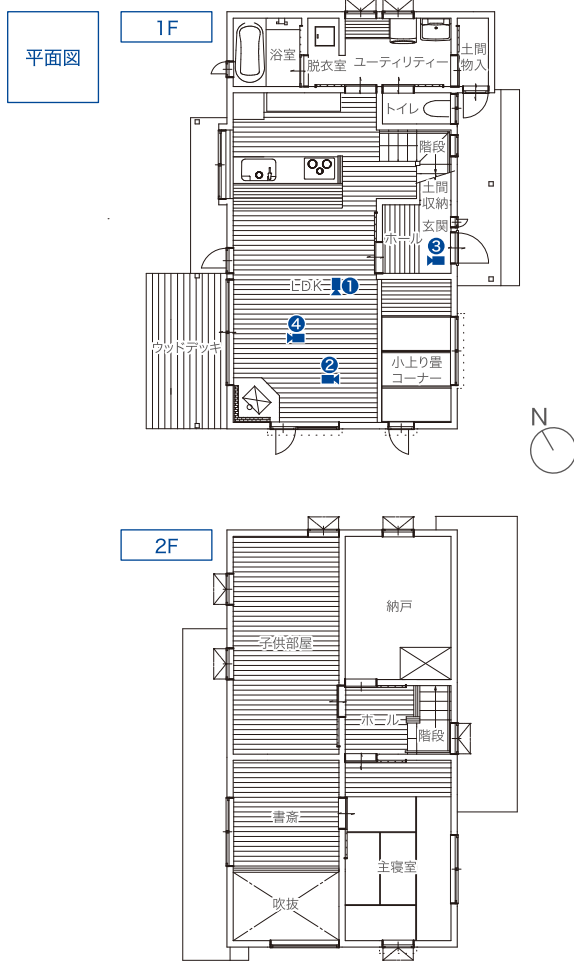
設計	有限会社 ふくた
施工	有限会社 ふくた
竣工日	2021年4月27日

建物概要

建設地	鳥取県鳥取市	延床面積	105.99㎡
敷地面積	851.00㎡	構造・規模	木造2階建

設備面の特記

厨房機器	IHクッキングヒーター
給湯機器	エコキュート
冷暖房機器	エアコン・薪ストーブ



①リビング西面の大きな開口部には深い庇をつけ、夏の日除けに。一方で、南面の開口部はLowE断熱タイプにし、庇をくぐり差し込む西日とともに、冬場の日射熱を有効に取り込む。



②雪と障子を採用し、居室部分の壁は漆喰塗りにしたリビングの小さがり。程よくキッチンの目線から隠れるため、子どもたちの隠れ家になっている。
③玄関ドアを開けると、外の風景が飛び込む。風通りの良い地形のため、夏場の通風を活かせるよう窓の設置箇所・種類を計画。
④夏は涼しく、冬は暖かく快適。四季や日々の移ろいを感じられる。



設計コンセプト

「豊かな自然の中で暮らしたい」と3年ほど居住地を探されていた施主が出会った土地。
美しい周辺の里山風景を家の中まで取り込むよう配置・窓を計画。また、新築の家が周辺の風景に溶け込むように外壁は杉板張り、内装は杉板と漆喰塗りを各所に使い極力自然素材で仕上げた。
薪ストーブの炉台やウッドデッキ、カーテン等は施主夫婦が作られた。ご自身達の楽しみと同時に、「いずれは子ども達と一緒に暮らしを作れることを楽しみたい」という思いがあるそう。子ども部屋の仕上げは未完成部分を残し、成長に合わせて一緒にお部屋づくりができるようにしている。
また、風の通りの良い立地を生かした通風計画や、「性能向上計画認定」を取得した高断熱施工など、施主の心身にも環境にも負担の

少ないつくりをベースにしている。薪ストーブを採用し、将来的には災害時を想定した創エネの計画もされている。
作りこまれた完璧さよりも、経年変化や自らが手を加える楽しみの余白を残した大らかな家を。日本家屋のような、縁側から庭を臨みながら一日や季節の移ろいの豊かさに心を沿わせるような家を。そして、いつも自然を身近に感じる心地の良い家を目指した。
「自然に寄り添い、自ら暮らしを創る」。かつての日本に当たり前のようであった暮らしは、これからの時代に求められ得る、前向きな暮らしの楽しみ方の一つであろう。

審査委員講評

豊かな自然の中に自然素材で仕上げた家を建てたい、というお施主さんの夢をかなえた結果です。周囲の風景に溶け込んだ外観はいたってシンプル、薪ストーブの煙突とウッドデッキはさながら西部劇？中に入れば余白だらけ。発展途上の我が家を家族みんなで上げていきましょう、という思いが伝わります。窓外の景色を眺める子どもたちは何思う？